


海外感染症情報

検査管理課

☎フリーダイヤル 0120-14-8734

発生地域	更新年月日	情報内容
中南米	2014年02月24日	カリブ海諸国におけるチクングニア熱の患者の発生状況について（更新5）
東南アジア	2014年02月21日	シンガポールでデング熱とチクングニア熱の患者が増加しています（更新1）
東アジア	2014年02月19日	鳥インフルエンザ A(H7N9)の発生状況について（更新23）★

情報源：厚生労働省検疫所ホームページ(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報、最新ニュース

★【2014年02月19日更新 鳥インフルエンザ A(H7N9) の発生状況について（更新23）】

2月18日付けで公表された世界保健機関（WHO）の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は、2月14日、15日、16日に、鳥インフルエンザ A(H7N9) ウイルスに感染したと確定された患者が9人（死亡者1人を含む）発生したと WHO に報告しました。

報告された患者9人のうち6人は男性です。患者の年齢層は4歳から84歳で、安徽省（2人）、広東省（5人）、湖南省（1人）、江蘇省（1人）から報告されました。うち2人の容態は重篤であり、3人は重症、そして3人の容態は現時点で明らかになっておりません。3人は生きた家きんとの接触歴があったと報告されています。

(中略)

感染が起こっている国からの感染者が、他の国に滞在中または到着後に発見される場合がありますが、人の間でウイルスが容易に感染するものではないので、患者が発見された場合でも地域レベルで感染が広がる可能性は低いです。ウイルスが効率的に人から人へと感染する能力を獲得するまでは、渡航者によって H7N9 が国際的に広がる危険性は低いままです。

WHO は、鳥インフルエンザが発生している国への渡航者に対し、農場への立ち入りや、生きた家きんのいる市場での動物との接触、家きんをと殺す場所への立ち入り、家きんやその他の動物の排泄物で汚染されていると考えられる地表との接触を避けるよう助言しています。また、渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣を遵守すべきです。

中国に滞在する方は、今後の情報に注意していただくとともに、手洗いや咳エチケットをこころがけてください。また、鳥に直接接触ったり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄ったりしないようにしましょう。入国時に、発熱、咳、のどの痛みなどの症状がある場合は検疫所にご相談ください。